

平成23年度第1回臨時会議事日程 (第1号)

平成23年1月28日(金曜日)午前10時 開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
日程第2 会期の決定について
日程第3 議第1号 下呂市基金条例の一部を改正する条例について
日程第4 議第2号 平成22年度下呂市一般会計補正予算
日程第5 議第3号 平成22年度下呂市下水道事業特別会計補正予算
日程第6 議第4号 平成22年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算
日程第7 議第5号 平成22年度下呂市立金山病院事業会計補正予算

出席議員(21名)

議長	大前武憲	1番	今井政嘉
2番	山川博己	3番	日下部俊雄
4番	中島博隆	5番	伊藤嚴悟
6番	松井旬子	7番	一木良一
8番	奥田重後	9番	服部秀洋
10番	吾郷孝枝	11番	二村金吾
12番	中島新吾	13番	中島達也
14番	熊崎兼治	15番	木一良政
16番	中野憲太郎	17番	田口幸雄
18番	山下一彦	19番	二村勝己
21番	宮川茂治		

欠席議員(なし)

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職・氏名

市長	野村誠	副市長	中島薫
教育長	長谷川藤三	会計管理者	今井能和
総務部長	熊崎武司	経営管理部長	村山鏡子
市民部長	今井隆夫	福祉部長	早兼高美
健康医療部長	青木進一	農林部長	田口守彦
観光商工部長	曾我満利	建設部長	二村文裕
上下水道部長	杉山裕	環境部長	今井弘司
教育部長	池戸昇	消防長	住 弥
金山病院		萩原振興	
事務局長	蒲宜久	事務所長	中丸修治

小坂振興
事務所長 二 村 敏 正
金山振興
事務所長 中 島 俊 則

下呂振興
事務所長 細 江 義 和
馬瀬振興
事務所長 川 口 太 三

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議会議務局長 松 村 勝 久
書記 中 島 大 樹

書記 二 村 勝 浩

午前 10 時 00 分 開会

◎開会及び開議の宣告

○議長（大前武憲君）

おはようございます。

ただいまの出席議員は 21 名で定足数に達しております。よって、平成 23 年第 1 回下呂市議会臨時会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎会議録署名議員の指名について

○議長（大前武憲君）

日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第 81 条の規定により、1 番 今井政嘉君、2 番 山川博己君を指名いたします。

◎会期の決定について

○議長（大前武憲君）

日程第 2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日 1 日としたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は本日 1 日と決定いたしました。

◎議第 1 号について（議案説明・質疑・討論・採決）

○議長（大前武憲君）

日程第 3、議第 1 号 下呂市基金条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

議第 1 号について提案説明を求めます。

経営管理部長。

○経営管理部長（村山鏡子君）

おはようございます。

それでは 1 ページ、議第 1 号でございますが、下呂市基金条例の一部を改正する条例について。

下呂市基金条例の一部を改正する条例を別紙のとおり定める。

提案理由は、下呂市住民生活に光をそそぐ基金の設置に伴い、当該条例の一部を改正するものでございます。

4 ページをお開きください。要綱にて御説明申し上げます。

下呂市基金条例の一部を改正する条例要綱。

1. 改正理由。国の地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金の制度要綱に基づき、その一部を基金として積み立て、平成 23 年度及び 24 年度事業の財源に充てるため、当該条例の規定を整理するものでございます。

2 の概要といたしまして、1 番の積立基金として設置する基金に、下呂市住民生活に光をそそぐ基金を加えるものでございます。これは、第 3 条第 1 項の表の関係でございます。

2番目でございますが、この条例は公布の日から施行いたします。附則関係でございます。

以上、説明を終わります。

○議長（大前武憲君）

お諮りいたします。ただいま説明をいただきました議第1号について、会議規則第37条第3項の規定によって委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議第1号については委員会付託を省略することに決定いたしました。これより本案に対する質疑を行います。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔発言する者なし〕

次に、原案に賛成者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔発言する者なし〕

討論なしと認めます。

これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議第1号 下呂市基金条例の一部を改正する条例について、本案を原案のとおり決することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、議第1号については原案のとおり可決されました。

◎議第2号から議第5号までについて（議案説明・質疑・討論・採決）

○議長（大前武憲君）

日程第4、議第2号 平成22年度下呂市一般会計補正予算、日程第5、議第3号 平成22年度下呂市下水道事業特別会計補正予算、日程第6、議第4号 平成22年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算、日程第7、議第5号 平成22年度下呂市立金山病院事業会計補正予算、以上4件を一括議題といたします。

議第2号から議第5号の提案説明を求めます。

市長。

○市長（野村 誠君）

おはようございます。御苦労さまでございます。

提案説明の前に、鳥インフルエンザについて若干お話ししたいと思います。

新聞報道でございますように、全国5ヵ所で発生しております。近くは豊橋で発生しております。岐阜県においては700万羽が飼育されておりますが、きょうの段階で異常ないということでございます。

その中で、岐阜県下では十の市町村が対策本部を設置いたしました。下呂市におきましては、14施設で5万8,000羽余りが飼育されております。目に見えないものでございますから、いつどういった事態が発生するかわかりませんので、下呂市といたしましても、この議会が終了後に対策本部を設置することとしておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、提案説明をいたします。

ただいま一括上程されました議第2号から議第5号までの補正予算につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

議第2号 下呂市一般会計補正予算（第9号）につきましては、主に国の円高デフレ対応のための緊急総合経済対策としての地域活性化・きめ細かな交付金事業19事業、住民生活に光をそそぐ交付金事業6事業に係る補正をお願いするものでございます。あわせて繰越明許費、債務負担行為の補正につきましてもお願いするものでございます。

議第3号から議第5号までの各特別会計につきましては、下水道事業につきまして、萩原処理区整備費として、国の補正予算に伴う平成23年度事業の前倒しすることに対する補正を、金山病院事業会計につきましては、金山病院建設工事の本体及び外構工事に対する補正をお願いするものでございます。

詳細につきましては、各担当部長より説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

○議長（大前武憲君）

続いて、議第2号について詳細説明を求めます。

経営管理部長。

○経営管理部長（村山鏡子君）

それでは、議第2号 下呂市一般会計補正予算の詳細説明を申し上げます。

補正予算書の1ページをお開きください。

第1条でございますけれども、歳入歳出予算の補正でございます。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億9,504万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ219億9,227万円とするものでございます。

第2条は繰越明許費の補正で、繰越明許費の追加は、「第2表 繰越明許費補正」によるものでございます。

第3条は債務負担行為の補正で、債務負担行為の追加・変更は、「第3表 債務負担行為補正」によるものでございます。

5ページをお開きください。第2表 繰越明許費補正でございます。

土木費の道路橋梁費において、横谷前山線道路改良事業996万円、地域活力基盤創造交付金事業9,492万円を用地交渉等に不測の時間を要したことなどによりまして、平成23年度へ繰り越すものでございます。

6ページをお開きください。第3表 債務負担行為補正でございます。

追加としたしまして、岐阜県議会議員選挙ポスター掲示場設置撤去業務委託料において、限度額35万7,000円を平成23年度を期間として、また変更といたしまして、環境総合基本計画策定業務委託料においては、平成22年度に契約するものの支払いが平成23年度となりますことから、関係する事業において平成22年度予算を減額し、期間を23年度とする債務負担行為の限度額を656万3,000円から1,312万1,000円に変更するものでございます。

7ページをごらんください。歳入歳出補正予算事項別明細書の総括でございます。

歳入補正の主なものは、10款地方交付税が1億1,128万1,000円の増、14款国庫支出金2億7,697

万 7,000 円の増、15 款県支出金 560 万 5,000 円の増額でございます。

8 ページをお開きください。歳出補正の主なものにつきましては、2 款総務費から 10 款教育費まですべて増額となっておりますけれども、国の円高デフレ対応のための緊急総合経済対策として、地域活性化・きめ細かな交付金事業、住民生活に光をそそぐ交付金事業によるものでございます。下呂市といたしましては、安全・安心のまちづくりのために住民生活に密着した事業を進めるものでございます。

9 ページからは歳入の事項別明細でございます。

歳入、10 款地方交付税 1 億 1,128 万 1,000 円の増は、国の補正に伴う普通交付税の算定見直しによるものが 1 億 128 万 1,000 円と 1 億 4,000 万留保していた分のうち 1,000 万円を合わせて追加計上するものでございます。

10 ページをお開きください。

14 款国庫支出金、土木費国庫補助金 150 万円の増は、国の補正によります住宅・建築物耐震改修等の事業補助金でございます。

その下、総務費国庫補助金 2 億 7,492 万 7,000 円の増は、同じく国の補正によります地域活性化・きめ細かな交付金事業 2 億 3,506 万 8,000 円、住民生活に光をそそぐ交付金事業 3,985 万 9,000 円でございます。

10 ページ下段の 15 款県支出金、衛生費県補助金 479 万円の増につきましては、国の子宮頸がん等のワクチン接種緊急促進臨時特例交付金によります岐阜県子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時基金、同促進事業費補助金でございます。

11 ページでございますが、20 款の諸収入、雑入の 1 万円につきましては、指定管理が切れました馬瀬診療所を、当分の間市直営として運営することによります収入を頭出しとして見込んだものでございます。

12 ページからは歳出でございます。

歳出の今回の歳出予算の補正につきましては、2 款総務費から 10 款教育費までほとんどが国の円高デフレ対応のための緊急総合経済対策としての地域活性化・きめ細かな交付金事業、住民生活に光をそそぐ交付金事業によるものでございます。代表的なものを中心に説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

12 ページのところですが、2 款の総務費、総務管理費、財産管理費の 397 万 9,000 円の増につきましては、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、下呂市民会館小坂山村開発センター改修工事、非常用照明、換気扇等の修繕を行うものでございます。

その下、企画費 450 万円の増は、議第 1 号において可決いただきました下呂市基金条例の一部を改正する条例のところでも御説明いたしました住民生活に光をそそぐ交付金事業として、平成 23 年度、24 年度の福祉部内の手話通訳者の雇用と養成講座の財源とするための基金積み立てをするものでございます。

13 ページでございます。

3 款の民生費、社会福祉費、中段の高齢者福祉費 1,046 万 9,000 円の増につきましては、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、特別養護老人ホームあさぎりサニーランド改修事業で、ナースコール、亀棟汚物処理室の改修工事と、亀棟、鶴棟のエアコン設置工事を行うものでございます。

その下、介護保険費の 479 万 1,000 円の増は、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、デイサービスセンターつつじ苑の特殊浴室の電気暖房器具の設置及び脱衣室のエアコン設置工事、小坂デイサービスセンターの照明器具の取りかえ工事、上原デイサービスセンターのひさし修繕工事を行う

ものでございます。

下段の児童福祉費の保育所費 578 万 1,000 円の増につきましては、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、萩原北、わかば、わかあゆ保育園にエアコンを設置する工事と、宮田保育園の外壁ほか塗装の改修工事、わかあゆ保育園のプール防水修繕工事を行うものでございます。

14 ページをお開きください。

中段の 4 款衛生費の保健衛生費、予防費の 1,410 万円の増につきましては、国の子宮頸がん等のワクチン接種緊急促進臨時特例交付金によります岐阜県子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時基金、同促進事業補助金を受けた子育て支援予防接種事業にかかわるものでございます。

その下の環境衛生費の 540 万 3,000 円の減につきましては、債務負担行為の補正の中でも説明いたしましたが、環境総合基本計画策定において、平成 22 年度に契約するものの支払いが 23 年度となることから、関係する事業分を減額するものでございます。

下段から 15、16 ページの上段までの診療所費につきましては、補正額はございませんが、指定管理が切れました馬瀬診療所を、当分の間市直営として運営することによります指定管理料からの各節の組み替えでございます。

16 ページをお開きください。

中段でございますが、6 款の農林水産業費の農業費の農地費 1,170 万 8,000 円の増につきましては、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、農業基盤施設改修事業でございまして、上ヶ平の用水路、雨池谷畑排水路、下呂 46 号線舗装工事を行うものでございます。

下段の林業振興費 1,338 万 8,000 円の増は、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、地場産材の活用事業で、木材によるいす、机を製作し、市内の小学校へ配付するものでございます。

17 ページでございます。

7 款の商工費、観光費、観光施設費 3,760 万円の増につきましては、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、下呂温泉街の修景整備事業で、温泉街の花木植栽、看板設置、雨情公園のステージ修繕を行うものでございます。

下段の土木費の道路橋梁費、道路新設改良費の 8,505 万の増につきましては、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、萩原東本町線の舗装工事、下呂大橋塗装工事、それから下呂温泉の散策路の改修工事を行うものでございます。

18 ページでございます。

中段の河川整備費の 2,625 万円の増につきましては、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、萩原諏訪谷の排水路、金山協和町の排水路の工事を行うものでございます。

下段の公園費の 1,054 万円の増につきましては、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、下呂湯けむりの森周辺整備事業で、あずまや、駐車場を整備するものでございます。

19 ページ上段の住宅管理費 899 万 3,000 円の増につきましては、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、萩原上村団地の公園整備、屋根、ほかの塗装工事が主なものでございます。

下段の 9 款消防費の消防施設費 4,593 万 6,000 円の増につきましては、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、萩原第 3 分団第 1 部、第 6 分団第 2 部の消防詰所の新築整備工事、萩原中区及び金山菅田貝洞地区の防火水槽の整備工事を行うものでございます。

20 ページをお開きください。

上段の災害対策費の 307 万 7,000 円の増は、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、馬瀬西村地区に屋外拡声子局を整備するものでございます。

10 款教育費、小学校費、学校管理費 3,090 万円の増は、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、宮田小学校、尾崎小学校の校舎屋根防水改修、金山小学校、東第 1 小学校の体育館屋根防水改修工事を行うものでございます。

21 ページでございますが、上段の中学校費の学校管理費 680 万円の増は、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、萩原北中学校の校舎屋根塗装改修工事を行うものでございます。

中段の社会教育費の公民館費 4,176 万 1,000 円の増につきましては、地域活性化・きめ細かな交付金事業といたしまして、上原湯屋あさんず会館、星雲会館の外壁等の改修工事でございます。

下段の図書館費の 1,697 万 5,000 円の増は、地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金事業といたしまして、下呂図書館改良工事、図書視聴覚資料等の購入に係るものでございます。

22 ページをごらんください。

中段の文化財保護費 1,634 万 1,000 円の増につきましては、地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金事業といたしまして、ふるさと歴史記念館の展示室の改装工事、駐車場整備工事等、下呂市博物館基本環境整備による市の拠点づくり事業を推進するものでございます。

23 ページでございます。中段、予備費 654 万 9,000 円の減は、予備費調整によるものでございます。

24 ページは、債務負担行為の調書でございます。

以上で、平成 22 年度一般会計補正予算（第 9 号）の説明を終わりますので、よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長（大前武憲君）

続いて、議第 3 号について詳細説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（杉山 裕君）

それでは、25 ページを開いてください。

議第 3 号 平成 22 年度下呂市下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）。

平成 22 年度下呂市の下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第 1 条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 8,550 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 27 億 5,372 万 5,000 円とする。

（地方債の補正）第 2 条、地方債の変更は、「第 2 表 地方債補正」による。平成 23 年 1 月 28 日提出。

少し飛びますけれども、30 ページを開いてください。

まず歳入でございます。国庫補助金ですが、下水道費国庫補助金 4,500 万円増額しまして、2 億 2,049 万 9,000 円とします。萩原処理区の事業費 9,000 万円の 2 分の 1 の補助金でございます。

次、市債でございますが、下水道整備事業債 4,050 万を増額しまして 2 億 8,090 万円とします。同じく萩原処理区の補助残 4,500 万でございますけれども、このうち 90%を借り入れするものでございます。

次のページ、歳出でございます。施設整備費ですが、特定環境保全公共下水道施設整備費 9,000 万円増額しまして 3 億 737 万円とします。萩原処理区の工事請負費でございます。内容につきましては、西上田地区におきまして管路整備 2,000 メートル、中呂地区におきまして舗装 1,100 メートルを計画しております。

次、予備費でございますが、450 万円減額とします。財源確保のために予備費で調整をするものでございます。

以上、説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いをいたします。

○議長（大前武憲君）

続いて、議第4号について詳細説明を求めます。

下呂振興事務所長。

○下呂振興事務所長（細江義和君）

それでは、予算書の33ページをお願いします。

議第4号 平成22年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第3号）。

平成22年度下呂市の下呂財産区特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳出予算の金額は、「第1表 歳出予算補正」による。

内容につきましては、36ページをお願いします。

歳出におきまして、一般会計繰出金21万9,000円を増額補正し、同額を予備費から減額補正をするものです。

以上、よろしくをお願いします。

○議長（大前武憲君）

続いて、議第5号について詳細説明を求めます。

金山病院事務局長。

○金山病院事務局長（蒲 宜久君）

それでは、予算書の37ページをお願いします。

議第5号 平成22年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第4号）。

第2条の平成22年度下呂市立金山病院事業会計予算（以下「予算」という。）第4条本分括弧書中「4,762万7,000円」を「7,389万8,000円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正するものであります。

まず収入につきましては、第1款資本的収入、第2項国庫支出金を532万9,000円増額し、資本的収入の合計を6,428万4,000円とするものであります。

次に支出につきましては、第1款資本的支出、第1項建設改良費を3,160万増額し、資本的支出の合計を1億3,818万2,000円とするものであります。

次に第3条、債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額を次のとおり定めるものであります。

項目としまして、一つが下呂市立金山病院建設工事監理業務、期間が平成23年度から平成24年度まで、限度額が2,510万円であります。

二つ目が下呂市立金山病院建設工事、期間が平成23年度から平成24年度まで、限度額が18億5,000万円であります。平成23年1月28日提出。

39ページをお願いします。補正予算の実施計画であります。

資本的収入ですけれども、目1国県補助金532万9,000円増額するものであります。これは、本体工事に係る医療施設耐震化整備費補助金で、平成22年度分の本体工事の2分の1を見込んでおります。

支出につきましては、目3病院建設費で3,160万円を増額するものであります。内容につきましては、金山病院の建設工事の監理業務委託30万、それから金山病院建設工事で、本体と外構の工事請負費で1,500万。これは、本体の部分につきましては建設敷地の掘削工事と、外構につきましては保健センターの横にあります公用車の車庫の解体等がございます。それから金山病院の建設工事の附帯工事で1,630万円。これにつきましては、建設敷地内にあります埋設下水管の移設、温泉の配水管の移設など

でございます。

42 ページをお願いします。債務負担行為に関する調書であります。

下呂市立金山病院建設工事の監理業務ということで、平成 23 年度から 24 年度、2,510 万、財源としては、地方債が 2,490 万、損益勘定の留保資金が 20 万円でございます。

それから、下呂市立金山病院の建設工事で、期間が 23 年度から 24 年度、18 億 5,000 万円、財源内訳としまして、県補助金が 5 億 5,065 万 9,000 円、地方債が 12 億 4,440 万、損益勘定の留保資金が 5,494 万 1,000 円であります。

以上であります。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（大前武憲君）

これより本 4 案に対する質疑を行います。

質疑はございませんか。

〔挙手する者あり〕

10 番 吾郷孝枝さん。

○10 番（吾郷孝枝君）

まず、14 ページの保健衛生費のところです。今回、子育て支援予防接種事業というのが 1,379 万 2,000 円上がっていますが、この中の扶助費 1,029 万 1,000 円の部分についてですけれども、これは子宮頸がん、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンの三つのワクチンの無料化ということなんですけれども、結局、市が 2 分の 1 補助、国が 2 分の 1 補助ということだと、こちらの補正財源の内訳の方、同じ金額で上がってこなくちゃいけないのかなあとというふうに思うんですけれども、このうちの委託料の 350 万円のインフルエンザの分を差し引いたとしても、一般財源の方が 100 万ほど多くなっていますが、この辺の差額の説明をまずしてください。

それからもう 1 件、特に子宮頸がんについては、国の方は、中学 1 年生から高校 1 年生まで下呂市が補助していれば 2 分の 1 補助するということになってはいますが、この対象年齢、下呂市の今度の補正で上がっている部分ほどの範囲なのか、お尋ねします。

○議長（大前武憲君）

健康医療部長。

○健康医療部長（青木進一君）

まず負担割合の関係ですが、基本的にいろんな内容では国 2 分の 1、市町村 2 分の 1 となっていますが、一応基準単価がございまして、国の示した基準単価がそれぞれ決まっております。その基準単価が端数がついておりまして、それをまず医師会との協議の中で切り上げたことによるその端数の部分、そして公費のカバー率は一応 9 割ということで、歳入につきましては、基準単価に人数を掛けて予算額を出しておるわけなんです、その 0.9 掛けの 2 分の 1 という形になりますので、歳入についてはきっちり 2 分の 1 にはなっておりませんので、そこら辺はよろしく申し上げます。

それから対象年齢につきましては、子宮頸がんのことについてお聞きなんです、一応中学 1 年から高校 1 年ということで考えております。ただ、今年度につきましては、既に下呂市においては単費単独で 2 分の 1 やっておりました関係で、ことしの 3 月までに助成申請をして 1 回以上接種を受けた場合は、高校 2 年生につきましても一応助成対象とするということで考えておりますので、よろしく申し上げます。

〔挙手する者あり〕

○議長（大前武憲君）

10 番 吾郷孝枝さん。

○10番（吾郷孝枝君）

それでは、この一般財源と国庫支出金のところの差額、大体100万、この差額のことわかりました。下呂市はことしから実施されていまして、中学2年生でしたね。ことし中学2年生の娘さんを持つ親御さんが、どうしようかなというふうで迷って接種しなかったと。非常に後悔をしてみえるんですね、できるかどうかということ。そういう方が今度受けられるのでいいんですけども、接種をした人は2分の1自己負担でやってみえますので、2万1,000円ほどは自己負担で払ってみえるわけですね。でも、今年度の補正だと、今度は無料になるわけですので、同じ22年度の中でも2万何千円なり負担した人と、そして無料で受けられる人ということになるんですけど、その辺の不公平というのか、その辺は何とかならないですか。既にもう負担した人も何とかならないかという意味ですけども、お尋ねします。

○議長（大前武憲君）

健康医療部長。

○健康医療部長（青木進一君）

その件については、種々検討をいたしました。こういった接種事業につきましては、医師会との協議が当然必要になってきます。いろいろ協議した中で、きょう議決をいただいて、下呂市の場合は2月1日から施行するというので一応考えております。この件につきまして、国の補正が11月26日、その後、これは県に基金をつくってやる形ですので、県の議会が12月に通ったはず。そして22年度、23年度の限定ということで国の方で示してきておりますので、他市とかいろんな状況を聞きながら、下呂市の場合は22年度の補正からやっという形で考えて、今調整をしておいたわけなんです。下呂市については2月1日からということで、今事業を進めております。県内42の市町村があるわけなんです。23年度から進められるところもあります。下呂市の場合は補正から動かしていくということで、2月からということで今やっておりますが、どこかで基準を持たないかんということで、2月からということでやっております。

今、遡及という意味だと思いますけど、やはりどこかで線を引かないかんということで、医師会とも、きょうの議決をいただいてから、2月1日の施行でいこうということで調整しております。

確かに下呂市の場合は2分の1負担で4月から進めておりますので、いち早く打たれた方が確かに若干自己負担があったと、2月1日以降の接種の方は全額助成という形になりますけど、そこら辺はいろんな形で十分説明してやっというしかなくかなということ。今考えておりますので、どこかで線を引かならんということで御理解をいただきたいと思っております。以上です。

○議長（大前武憲君）

ほかに質疑はございませんか。

〔挙手する者あり〕

13番 中島達也君。

○13番（中島達也君）

何点かちょっと質問させていただきますが、まず、きょうの中日・岐阜新聞に金山市民病院の概要が発表されておまして、きょうの臨時議会に合わせるように発表されておりました。来月からいよいよ着工ということで、いろいろ問題をクリアされながらの着工ということだろうと思っておりますし、また関係者の方は大変な御尽力があったということで、大変感謝をしておりますけれども、この総事業費が約19億ぐらいになるわけですが、この事業において我々が説明を受けているのが、総事業費の大体35%ぐらいを地元業者にやっというふう聞いておりますが、その辺についてどういうふうになっているかということをお聞きしたいと思っております。

それと、今回の国庫補助金で湯けむりの森周辺整備事業でございますが、これは、もともと観光施設であったおんまか山荘の跡地に整備されるわけでございますが、当時、区有地であった土地に、地域の活性化ということで地元区民の了解をいただきながら観光施設として昭和 45 年にオープンしたというふう聞いておりますが、これは老朽化したということで解体を進めておったんですが、一時、長期工事関係者の宿泊所になりまして今日まで来たわけでございますが、今後この跡地をどうするかという問題で、前々から地元からもいろんな要望が出ておりまして、来年度以降に総合計画の中に入れていただいて整備をやっていくというふうにお聞きしておりましたが、今回前倒しということで大変ありがたく思っております。その中で、今回あずまやと駐車場整備ということでございますが、もともと地元からは、あの周辺は野球場があり、また散策路、ハイキングコースになっておりまして、トイレの設置ということも要望がありました。今後どのようにその辺を対応されていくのか、一応方向だけお聞きしたいと思っております。

それともう 1 点、今回も花木の植栽ということで計画されておりますが、今、観光計画が昨年できて、花木の植栽計画というのがあるかと思っておりますが、今後、そういった花木の植栽についてしっかりとした計画があるのか。何を何本どこに植えるかというような計画があるのか。また、今回こういったものを植栽していくお考えがあるのか、その 3 点についてお聞きしたいと思っております。

○議長（大前武憲君）

金山病院事務局長。

○金山病院事務局長（蒲 宜久君）

御質問をいただきました、金山病院の建設工事の全体事業費の 35%以上を地元建設業者に発注するというところでございます。これにつきましては、本日議会の方に予算を上程させていただきました、議決をいただいた以降、契約行為等の事務手続を進めるわけなんですけれども、現在はその手続がまだできないということで、施工業者であります土田建設の方から、現況がどうなっているのかということで御報告を受けております。これは、契約がまだなされておられませんので、金額の表示というのは、まだこれから契約をされた後に 1 次下請、2 次下請の方たちと下請契約等をされるかと思っておりますので、ここで検証をしていくという形になろうかと思っておりますけれども、現在までに施工業者の土田建設さんの方から地元の業者さんの方へいろいろと相談を持ちかけられまして、ほぼ内諾を得ておるという状況で承っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

○議長（大前武憲君）

経営管理部長。

○経営管理部長（村山鏡子君）

今質問のおんまか山荘の件でございますけれども、ただいま上程しておりますおんまか山荘の公園費につきましては、駐車場、またあずまやということは御説明したとおりでございますけれども、今後、今建てておりますあずまや等につきましては、地域の方が管理をしていくということでお願いをしているところでございますけれども、ここへ来るまでもかなり地域の方々と協議をしてまいったわけでございますが、議員が言われますトイレにつきましても、今後、地元の方との協議が必要であるかなとは考えております。以上です。

○議長（大前武憲君）

続いて、観光商工部長。

○観光商工部長（曾我満利君）

花木植栽につきましては、今後の計画については、地域住民と、また各種団体と協議をしながら実施

をしていくということで今進めておりますが、主にもみじ、桜を中心に下呂市全体を対象として計画をしていきたいということを考えていますので、よろしくお願いします。

[挙手する者あり]

○議長（大前武憲君）

13番 中島達也君。

○13番（中島達也君）

ありがとうございました。金山病院については、発注者である下呂市がしっかり監理監督といった形で、今後、ゼネコンさんとの地元協議もあるというふうな御答弁でございましたが、何とか発注者である下呂市ということをしっかり前面に置いて、検証といいますか、管理をしていっていただきたいと思います。

そこで、市長にお考えを聞きたいんですが、昨年も地元の大きな業者、そしてことしに入りましても建設関係の業者が廃業をされるというような大変厳しい状況にあるわけですが、今後、下呂市が扱う事業につきましては、何とか100%地元業者という考えで進んでいくことが、今後下呂市を元気にし、あるいは雇用の確保につながっていくと思いますので、再度お考えをお願いします。

○議長（大前武憲君）

市長。

○市長（野村 誠君）

金山病院につきましては、当初、皆さん御存じのように30億近くかかる事業費が、ああいった形で19億円ほどに抑えられたということがございます。プロポーザル方式をとりながらやってきましたし、またワークショップでも市民の皆さんにも参加いただきながらああいう形になったということがございます。ローコスト、ハイクオリティな病院を目指すという形の中でやってきて、確かに地元の業者の皆さんからもおしかりを受けたことは事実でございます。しかしながら、今後につきましては、地元の皆さんに仕事をしていただけるような方向で考えていきたいと思っております。

○議長（大前武憲君）

ほかに質疑はございませんか。

[挙手する者あり]

5番 伊藤巖悟君。

○5番（伊藤巖悟君）

今回、この補正につきましては、何ら私は異存はございません。ただ、この補正を組まれて、しっかりと効果を出していただきたいと思っておりますので、その辺についてお願いをしたいと思っておりますが、まずこの成り立ちをよくよく我々は理解をしていかなければならないと。まさしくこれは格差是正を図るために、そして前にも数字が出てきましたけれども、下呂市はこれを見ますと二つの交付金で3億8,000万。郡上はもう少し多かったです。高山も多かったです。人口当たりになると下呂市は多分一番高額であったかなあと、そんな記憶がございます。これは、要するに今の経済状況をかんがみて交付金が配分されたと、私はそういうふうに理解しております。したがって、今回のこの補正はしっかりと早く着実に実行し、速やかにその効果を出すということが肝要だというふうに思います。

郡上市に聞きますと、郡上市は12月定例会において、これを途中で補正を組み直して実行したというふうにも聞いております。したがって、どうか少しでもこの冷え込んだ経済状況の中で、実際に市民の業者の方々、生活者の方々にしっかりとした成果があらわれるように、執行部は一丸となって進めていただきたいというふうに思います。市長並びに担当者のお考えを伺いたいと思っております。

○議長（大前武憲君）

市長。

○市長（野村 誠君）

伊藤議員のおっしゃるとおりだと思いますが、今年度は繰り越しもありますけれども、年度内にできるだけの仕事をしていただいて、市民の皆さんの経済効果が出てくるような方向で執行していきたいと考えております。

○議長（大前武憲君）

経営管理部長。

○経営管理部長（村山鏡子君）

今、伊藤議員の言われましたことはよくよく理解しておるわけでございますけれども、そもそもこの交付金事業につきましては、地域経済の元気を取り戻すというようなことで、インフラ整備を主にして今補正をしておりますので、そこら辺、各担当部におきまして、今何が一番必要なのかということをかながみ中での予算上程となっておりますので、御理解いただきたいと思っております。

〔挙手する者あり〕

○議長（大前武憲君）

5番 伊藤巖悟君。

○5番（伊藤巖悟君）

今、お2人の市長並びに部長から気持ちを聞きました。どうかそれぞれの担当部署におきまして、心して予算執行に取り組んでいただきたい。お願いしておきます。以上です。

○議長（大前武憲君）

ほかに。

〔挙手する者あり〕

9番 服部秀洋君。

○9番（服部秀洋君）

1点お伺いいたします。

先ほど中島達也議員も質問されておりましたけれども、下呂温泉街修景整備事業の中の温泉街の看板の整備と雨情公園のステージ修繕とございますが、その辺もう少し詳細な御説明をいただきたいと思っております。

○議長（大前武憲君）

観光商工部長。

○観光商工部長（曾我満利君）

下呂温泉の看板整備なんですが、今いろんな看板が立っております。そういったものを統一化すること、かなり古くなったものがありますので、そこら辺は少し危険もありますので、そういったものをまず調査したいということで、調査費を300万上げさせていただいております。それをもとにある程度の看板を関係者と相談をしながら、どういったものにするべきかということも含めてやっていきたいということで、800万ほどを上げております。

それから花木植栽につきましては、今、観光協会の方で場所を決めておいでになりますので、そこら辺も含めて共同で作業をしていきたいということで、1,300万。

それから公園整備は、雨情公園等のステージとかありますけれども、かなり古くなってきておりますので、そこら辺を整備し、また阿多野谷沿いの、県が今度左右岸をつないでくれる橋をかけていただき

ますので、そういったものに対する附帯修景工事というものも含めて進めていきたいということを思っておりますので、お願いします。

[挙手する者あり]

○議長（大前武憲君）

9番 服部秀洋君。

○9番（服部秀洋君）

了解いたしました。看板の方も、統一されるのはサイン計画等に基づいて統一した景観条例を含めた看板の設置を検討していただきたいと思います。

また、ステージですけれども、私どもたまにボーイスカウトの集会等では利用しておりますけれども、大分汚れも目立っておりますし、また、もっと利用を促すような施策も同時にお願いしたいと思います。以上です。

○議長（大前武憲君）

ほかに質疑はございませんか。

[挙手する者あり]

2番 山川博己君。

○2番（山川博己君）

この補正予算の執行に当たりまして、また計画についてもそうありますが、先ほど伊藤議員が質問されたとおりでございますので、冷え切っている地域経済の活性化の役に立つように、スピーディーな執行をお願いしたいというふうにまず思います。

そこで、ちょっと具体的に二、三点お聞きをするわけではありますが、ただいまの服部議員の質問とも関連がありますが、下呂温泉街修景整備事業の中の温泉街の花木植栽、これは主に道路沿線少ヶ野地内とありますが、今、観光部長が御答弁いただきましたけれども、具体的にどのあたりになるのか、場所をお答えいただければと思います。

それともう1点、市道改修事業の中の、これは土木課になりますね。下呂温泉散策路改修工事、この具体的な場所、内容等についてお答えをいただきたいと思います。以上2点。

○議長（大前武憲君）

観光商工部長。

○観光商工部長（曾我満利君）

花木植栽につきましての少ヶ野の地域は、今の今井建設さんがあります山手の方に、ハウテックさんの山があるんですが、観光協会の環境整備委員会というのがあるんですが、そちらの方がその山を決定されましたので、今の針葉樹を少し切りまして、広葉樹を植えかえるということで、少ヶ野地域も下呂・小坂線の県道のある程度整備してみえますので、あちらの道路の方も一つの観光ルートとしていきたいなということで、今進めております。

○議長（大前武憲君）

建設部長。

○建設部長（二村文裕君）

下呂温泉街の散策路の修景でございますけれども、これは昨年度から施行しております湯之島2号線等々の側溝のふたが白いままでございますので、滑りどめ等々、あと修景をするものでございます。以上でございます。

[挙手する者あり]

○議長（大前武憲君）

2番 山川博己君。

○2番（山川博己君）

植栽と道路の改修工事についてお答えをいただきましたけれども、先ほど服部議員も指摘されましたように、この植栽計画、それから看板の整備、それから散策路の改修、すべてについてランドデザインと申しますか、全体計画の中でその部分を整備していくということが大切だろうというふうに思います。最近、交流会館の周辺に大変たくさんの植栽がされましたけれども、私の感想としては多過ぎるのではないかなあと、これは私個人の感想ですけど、持っております。でありますから、植栽するに当たりまして、その周囲の景観にマッチするような植栽計画、もちろん看板の整備、道路の改修もそうでありますけれども、そういうことについて配慮しながら行っていくべきではないかなというふうに思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

○議長（大前武憲君）

観光商工部長。

○観光商工部長（曾我満利君）

多過ぎると言われると、どうかなという思いをしておりますが、昨年度につきましては、きめ細かな交付金でやっておる事業が今の事業なんですけど、とりあえずこういった形で植えられますよということで、見本を見せたいということで、特に市の所有地を中心に植えておるんですが、多いのか少ないのかは、また検討いたします。

〔挙手する者あり〕

○議長（大前武憲君）

2番 山川博己君。

○2番（山川博己君）

多過ぎるというのは表現が足らなかったかなあと申しますが、木と木の間が込み過ぎているということは感想として持っています。そういうことも踏まえて、この植栽計画、それから看板整備等々については、やはり長期計画と申しますか、全体のランドデザインの中でやっていくのがいいのかなと。観光計画との関連性もありますので、そういうことを提言して質問を終わります。

○議長（大前武憲君）

ほかに質疑はございませんか。

〔挙手する者あり〕

18番 山下一彦君。

○18番（山下一彦君）

経営管理部長にお聞きしたいんですけど、この住民生活に光をそそぐ交付金実施計画の中に、社会的弱者実態調査というのがございますけど、もし説明して下さったのなら、僕が聞いておらなかったということで申しわけないんですけど、もしなかったら説明してほしいと思います。

○議長（大前武憲君）

経営管理部長。

○経営管理部長（村山鏡子君）

社会的弱者ということですか。光をそそぐ交付金のことでしょうか。この交付金は、今まで光の当たってなかったところに光を当てると申す国の要綱があるわけがございますけれども、6事業を上げておりますけれども、DV対策とか、それから手話通訳者の雇用に結びつくものが基金として上げておる

ものでございますし、知の拠点づくりということで、図書館等の整備も上げておりますので、そこら辺が光をそそぐ交付金の主なものでございます。

[挙手する者あり]

○議長（大前武憲君）

18番 山下一彦君。

○18番（山下一彦君）

図書館の方は、また社会教育課の方でもあるわけですけど、社会的弱者というと、さまざまな弱者が見えますので、またそのうちにお聞きしていくと思いますけど、今、無縁社会というような形で、非常にそういう弱者の方が社会的にクローズアップされておるわけですが、そういう方ではないというわけですか。

○議長（大前武憲君）

福祉部長。

○福祉部長（早兼高美君）

今、御質問がございました社会的弱者の支援業務ということでございまして、議員御存じかと思えますけれども、急速な高齢化、そして少子化、あるいは景気の低迷というようなものがございまして、独居、あるいは要介護、低所得者、あるいは障害者といういわゆる社会的な弱者でございますけれども、そういった方々が非常にふえておると、抱えておるといような現状がございます。さらに地域福祉推進の実態というものも把握しながら、社会的弱者に対する効果的な支援策というものもこれから進めていかなければならないということでございます。そういった中で、まずは実態をきちっと把握しようということでございます。基本的には1,000人ぐらいの方にアンケート調査、当然アンケート調査だけでは不十分でございますので、社協さんあたりに委託をいたしまして、実際に訪問しながら実態をきちっと把握していきたいと。そういったものを集計しながら、当然それは手間がかかりますので、臨時職員等、いわゆる社協さんに委託する中で、専門の統計作業を行っていただきながら今後の地域福祉施策に反映していきたいということで、本格的な調査をいたしたいということでございます。そういった費用を計上させていただきたいということでございます。

○議長（大前武憲君）

ほかに質疑はございませんか。

[挙手する者あり]

21番 宮川茂治君。

○21番（宮川茂治君）

雨情公園とか、そういうところへの植栽の問題がいろいろ出てきておるんやけど、実は私のところへこういう話が来たんですよ。

雨情公園のしだれ桜があります。きれいな桜があります。雨情公園のところで古木を切って、あと植栽をしたということですけども、桜がせっかくあるのに、桜の木をどうして植えなかったかと。もみじを植えられたという話ですけども、もっと桜を生かしていく。あの辺は春になれば桜という形で、観光客やいろんな人たちも来られるような体制があるやろうと思うと。だから、どうしてそこへもみじを植えたかという話をちょっと聞きたいんやけれども、その辺どういう考えでやったか。基本計画とか、そういう問題が一つあるやろうと思うんやけれども、その辺についてはどうか、ちょっと教えてください。

○議長（大前武憲君）

観光商工部長。

○観光商工部長（曾我満利君）

雨情公園東部を含めまして、桜の木がかなり植わってはおりますが、赤くなるイロハモミジを中山七里から下呂の外れまで植えたいということで、今言われておるのが4万本植えたいと。市民が昔4万人おったということで、4万本植えたいということで、今運動を進めておりますので、雨情公園につきましても、桜の木はしだれ桜があります。もみじを植えて、四季を通じて楽しんでいただくという形をつくりたいということで植えておりますので、よろしくお願ひします。

〔挙手する者あり〕

○議長（大前武憲君）

21番 宮川茂治君。

○21番（宮川茂治君）

そうすると、桜の関連はどうでもいいということなの。そういう見方でいくか。もみじにしてしまうという考えでおるわけ。

○議長（大前武憲君）

観光商工部長。

○観光商工部長（曾我満利君）

言葉を変えますと、もみじと桜を植えたいということで、先ほど言いましたけど、交流会館についても1本置きに桜、もみじ、桜、もみじと植えておりますので、決して桜をないがしろにするという意味ではありませんので、お願ひします。

○議長（大前武憲君）

ほかに質疑はございませんか。

〔挙手する者あり〕

7番 一木良一君。

○7番（一木良一君）

地域活性化・きめ細かな交付金の実施計画の中に、岩陰遺跡の地域観光資源活用事業、岩陰遺跡整備事業というふうにして3項目760万の総事業費が見込んであるんですが、先般、週刊誌を見ておりましたら、エジプトの遺跡の関係がこの岩陰遺跡と関連があるということで週刊誌に出ておりました。提携というようなこともその文書の中に出ておりましたけれども、市としては、その辺は今後どのようなふうの方針を考えておられるのか、お聞きしたいと思います。

○議長（大前武憲君）

経営管理部長。

○経営管理部長（村山鏡子君）

具体的な話はまだございませんけれども、今言われたようなエジプトとの関連で、下呂市だけでなしに各務原市の方も関連があるような、その程度の情報しかございませんけれども、まだちょっと打診があったところでございます。友好というか、そういうことをしてはどうかという打診までの状況でございます。

〔挙手する者あり〕

○議長（大前武憲君）

7番 一木良一君。

○7番（一木良一君）

今後に期待したいと思いますが、ぜひとも中東のオイルマネーを取り込むくらいの、ひとつそれぐらいの意気込みを持って取り組んでいただきたいなあと、お願いしておきます。

○議長（大前武憲君）

ほかに質疑はございませんか。

〔挙手する者あり〕

4番 中島博隆君。

○4番（中島博隆君）

予算書と交付金実施計画というのがありますけれども、これは大まかな総事業費と事業内容が書いてありますけれども、大きな何千万単位で三つとか、四つの事業内容が入っていますけれども、もし観光課のこの3,000万、温泉街の花木、この三つの事業内容の大体の予算配分がわかれば、全体を教えてほしいと思います。土木課でも、あずまや整備工事、駐車場整備工事、二つこういうふうに入っていますけれども、できたら、この事業内容の細かいところで大まかな予算がわかれば、全体像を教えてくださいたいと思いますが、よろしく。

○議長（大前武憲君）

観光商工部長。

○観光商工部長（曾我満利君）

先ほどちらっと言いましたけれども、看板整備の調査業務委託が300万、それから温泉街看板整備工事が800万、下呂温泉花木植栽が1,300万、公園整備が600万、それからもう一つの地域の話なんですけど、760万の話ですけど、金山の岩陰遺跡の駐車場の整備をしたいということで200万。それから、川上馬瀬地区のキャンプ場で86万6,000円、それから小坂の滝見遊歩道で473万4,000円という割り振りになっております。

○議長（大前武憲君）

建設部長。

○建設部長（二村文裕君）

中島議員が言われておるのが、多分19ページ中段の930万の件だと思うんですが、これにつきましては、細かいことをいいますと、萩原駅の下流のガード下にある市営住宅の整備等維持工事でございます。広域農道の残地を児童遊園に拡張するためのものが整備工事でございます。修繕の方がその団地の屋根、手すり等の塗装の工事でございます。以上でございます。

〔挙手する者あり〕

○議長（大前武憲君）

4番 中島博隆君。

○4番（中島博隆君）

先ほど経営管理部長が内容を言ってもらいましたので、その中で、総事業費が大きい流れの中に事業内容が三つも四つも入っているところがありますので、大きいところだけの金額がわかれば教えてほしいという私の意見でしたので、細かくじゃなくて、土木課でも市道改修事業で3項目がありますけれども、そこに8,500万という予算が入っていますけれども、こういうのをもう少し萩原東本町の舗装工事、下呂大橋塗装工事、下呂温泉散策路改良工事、こういうのにどのくらいの予算が配分されているかというのが聞きたいということで、細かくじゃなしに、この事業内容の大まかなところですよ。だから、全体の金額じゃなくて、このくらいかかるよというその予算がわかればということです。

○議長（大前武憲君）

建設部長。

○建設部長（二村文裕君）

先般、全協のときに説明する予定でございましたけれども、ちょっと説明ができませんでしたので、土木課の分、17ページのところの説明をさせていただきます。

まず、道路新設改良費のきめ細かなの8,505万円の分でございますが、これにつきましては萩原東本町線舗装工事、これは萩原農協の前でございますけど、これが1,575万円でございます。下呂大橋の塗装、これが6,300万円ございまして、下呂温泉の散策路が630万円でございます。

続きまして、次のページに行きまして、河川費の河川整備費の2,625万円でございますが、これは先ほど経営管理部長が言いましたように、諏訪谷の排水路が1,575万円、金山の協和町が1,050万円でございます。以上でございます。

○議長（大前武憲君）

消防長。

○消防長（住 弥君）

消防費につきましては、消防団詰所整備事業といたしまして、萩原第3分団の第1部消防詰所の新築工事が1,850万5,000円でございます。その下の萩原第6分団第2部消防詰所の新築工事が1,779万5,000円でございます。その下の防火水槽の整備事業でございますけれども、萩原中区の防火水槽の整備事業が470万3,000円でございます。その下の金山菅田貝洞地区の防火水槽の整備事業でございますけれども、472万2,000円でございます。以上でございます。

○議長（大前武憲君）

教育部長。

○教育部長（池戸 昇君）

予算書の20ページでございますけれども、小学校費の学校管理費に3,090万でございますけれども、こちらにつきましては、宮田小学校の屋根防水改修が1,110万円、尾崎小学校の屋根防水工事が1,300万円、金山小学校の体育館の屋根防水で400万円、東第1小学校の体育館の屋根防水が280万円でございます。

それから、21ページの社会教育費の公民館費4,176万1,000円でございますけれども、こちらの内訳につきましては、施設整備工事に1,300万円ございますけれども、上原公民館の浄化槽設置事業に1,170万円、星雲会館の換気扇の改修に166万円、それから施設維持工事が2,770万円ございますけれども、内訳としましては、湯屋地区の公民館の外壁塗装が600万円、あさんず会館の外壁改修が1,000万円、星雲会館の東面の外壁の塗装工事が670万円、星雲会館の駐車場の舗装工事が460万円。

それから、図書館費で1,697万5,000円ほどございますけれども、こちらにつきましては、施設整備工事に460万円ございますけれども、こちらは下呂の図書館の主な改修でございます。それから備品購入費が1,218万5,000円ほどございますが、これはDVDの購入とか書架、またはコンピューター等の購入でございます。

それから文化財保護費1,600万円ほどございますけれども、こちらにつきましては1,331万9,000円ほどがふるさと歴史記念館の屋根の改修であるとか、冷暖房の改修、それから駐車場の舗装というところでございます。よろしく申し上げます。

○議長（大前武憲君）

経営管理部長。

○経営管理部長（村山鏡子君）

先ほど議員が言われましたあずまやと駐車場の整備工事の 1,054 万でございますけれども、設計委託が 47 万 8,000 円、舗装工事が 344 万、それからあずまやの工事が 662 万 2,000 円の予定でございます。

○議長（大前武憲君）

ほかに質疑はございませんか。

〔発言する者なし〕

ほかに質疑はないようなので、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま説明をいただきました議第 2 号から議第 5 号までの上程 4 議案については、会議規則第 37 条第 3 項の規定によって委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議第 2 号から議第 5 号までの上程 4 議案については、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論を行います。

討論の通告書が提出されておりますので、まず原案に賛成者の発言を許可いたします。

10 番、吾郷孝枝さん。

○10 番（吾郷孝枝君）

今回提案されました一般会計補正予算に対し、共産党下呂市議団を代表しまして、賛成討論を行います。

一般会計に 3 億 9,504 万円が追加された今回の補正予算は、地域活性化交付金の 2 億 7,493 万円が一番の特徴となっております。この地域活性化交付金は、昨年来からの政治の混乱、経済の行き詰まりが続く中、11 月下旬にやっと国会を通り成立した予算でした。それを国から県に、県から各市町村に内示され、議会に説明されたのが 12 月 17 日の定例議会最終日、ぎりぎり間に合うかのタイミングでした。しかも、この 3 億円近い交付金は、各自治体独自の事業計画が立ててあることが前提となっており、1 月 4 日までに県に申請し、県は国に 1 月 7 日までに申請しなければ交付されないといったものでした。関連部署の皆さんは、正月返上で仕事をされたと聞いています。本当に御苦労さまでした。

今回、補正予算で上がっている地域活性化・きめ細かな交付金については、地元の業者が受注できるインフラ整備として 19 の事業が予算化されました。地元の業者に仕事が回ることを重視したという市の姿勢を評価し、市民との協働を進めていくことが大切であることを改めて確認したいと思います。

今回、事業費で 3 億 8,976 万円の交付金活用事業のほとんどが新年度に予定されていた事業の前倒し実施なわけですから、その分、新年度事業で下呂市独自の市民生活応援事業を大いに実施されることを期待しています。

また、子宮頸がんの予防接種について、今回、子育て支援予防接種事業の医療扶助費 1,029 万円の補正がされ、無料化されることになりました。これは、子宮頸がん、ヒブワクチン、そして小児肺炎球菌ワクチンの三つですが、これが無料化されるということは非常に喜ばしいことです。岐阜県内で子宮頸がんの予防接種の助成を実施していたのは、この 12 月末で下呂市を含めて 10 の自治体のみでしたが、国が半額補助し、無料化するという方針を打ち出してから、ことしになって岐阜市など 21 の自治体に倍増しました。でも、子宮頸がんの予防接種は、学校での正しい性教育と保護者の理解、医師会の先生方の協力なしには進まないことです。その点、下呂市は早くからこの部分に取り組みをされ、関係機関との話し合いや協力関係の積み重ねがなされてきておりよかったと思います。しかし、国の 2 分の 1 補助は、22 年度と 23 年度限りとなっております。24 年度以降も無料化を続けられるよう、市から国や県に

対する要請を強めていただきたいと思います。

以上の見解を述べまして、賛成討論といたします。

○議長（大前武憲君）

次に、原案に反対者の発言を許可いたします。

ございませんか。

[発言する者なし]

ないようです。

次に、原案に賛成者の発言を許可いたします。

ございませんか。

[発言する者なし]

討論がないようですので、これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議第2号 平成22年度下呂市一般会計補正予算、本案を原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員です。よって、議第2号については原案のとおり可決されました。

続いて、議第3号 平成22年度下呂市下水道事業特別会計補正予算、本案を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員です。よって、議第3号については原案のとおり可決されました。

続いて、議第4号 平成22年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算、本案を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員です。よって、議第4号については原案のとおり可決されました。

続いて、議第5号 平成22年度下呂市立金山病院事業会計補正予算、本案を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員です。よって、議第5号については原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（大前武憲君）

これをもちまして本臨時会に付議されました議案はすべて終了いたしました。よって、平成23年第1回下呂市議会臨時会を閉会いたします。御苦労さまでございました。

午前11時22分 閉会

以上会議の次第を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成 23 年 1 月 28 日

議 長 大 前 武 憲

署名議員 1 番 今 井 政 嘉

署名議員 2 番 山 川 博 己